


審査結果報告書

平成26年 2月 3日

主査 氏名

堀口 利之 

副査 氏名

石川 均 

副査 氏名

庄司 信行 

副査 氏名

川崎 拓志 

1. 申請者氏名 : DM10021 柴田 優子

2. 論文テーマ :
中央固視標と周辺部視標刺激の調節と瞳孔反応に与える影響

3. 論文審査結果 :

申請者、柴田優子氏の学位論文は審査員全員一致で博士の学位を与えるのに相応しいと判断する。

平成26年2月3日(月)15時05分より、M5号館3階M37講義室において博士課程学位論文の公開審査を行った。

申請者は本研究において、中央部と周辺部に距離の違う二つの刺激を提示した時に起こる調節と瞳孔径の反応を検討した。本研究で、周辺部の刺激は瞳孔径反応への影響はほとんどないが、調節への影響は小さくないことが示された。また、本検討は基礎的な研究であるが、今後の映像技術発展と拡張現実などの人工的な視空間の普及にともなう影響への展望を示していた。今後さらに多くの詳細な検討の積み重ねが必要であるが、発表された内容は極めて示唆に富んだ知見を含んだものであった。

申請者はテーマについて、プレゼンテーション・ソフトを用いて、研究の背景、目的と実際の方法、結果と考察を簡潔かつ明快に解説するとともに、その意義、研究のさらなる発展性についても的確な展望を示した。研究に関する審査員からの質問に対しても、的確な回答が得られた。また、その後の会場からの質問に対しても見解を正確に示し、全体として終始真摯かつ詳細な応答がなされた。以上、学位論文の内容および発表、質疑応答とも優れたものがあり、博士号を授与するに十分値すると判定した。